

2020年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究 (本年度のみ)

ふりがな	たかはし ひろし		職 位	特別任用常勤講師	学 位	文学士 (英語英文)
教員氏名	高 橋 弘					
アルファベット表記	Takahashi Hiroshi					
専門分野	英語教育					
研究課題	テーマ	大学生の英語リメディアル教育と4技能を統括した実践英語力の向上 実社会で使える基本的な英語の定着とさらなる英語力の向上				
	概要					
本年度 研究業績	研究費	総額： 10万 円 内訳：個人研究費 10万 円 / 未来授業研究費 10万 円 そ の 他 円				
	研究テーマ	TOEICにおける Listening と Reading をリンクした能力の向上を図る 教授法の試み (スラッシュリーディングをリスニングに結びつける取り 組み)				
	経過と到達点	学生の効率的な勉強方法と得点の向上に結びついている。				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート等					
⑦学会での 口頭発表、 討論者 (ディスカッサント)					

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費 等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業 (日本学術 振興会)申 請				

2. 教 育 (本年度のみ)

		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義		
	演習	TOEIC500,TOEIC600,TOEIC800 総合基礎英語 英会話 I 編入対策	TOEIC500,600 英語プレゼンテーションの基礎 英語フォローアップ 英会話 I、英会話 II
	実習		

教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目
	◆ 演習科目 実社会、実生活で使える基本的な英語力を身につけるために、あらゆるコミュニケーション場面を想定して、単に英語の表現を覚えることにとどまるのではなく、聞かれて答える、読んで考えを言う等の、聞く・話す・読む・書くの4技能を単独ではなく場面にあわせて組み合わせて学習させた。また将来英語を武器にして活躍することを具体的な夢や目標を持っている学生や、他大学への編入試験を目指している学生に対しては、それぞれの夢や目標を実現させるための個々のニーズに合わせた力がつくように個別指導にも力を入れた。特に TOEIC において、リスニングの学習とリーディングの学習を結びつけた能率のよい勉強方法は、学生の TOEIC の得点につながっている。
	実習科目
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。） 教科書の使用を基本としながら、学生が主体的に学習できるように適宜プリントを作成し理解や応用力の向上を図った。また昨今の課題である社会生活でのコミュニケーション能力不足も考えながら、学生に発話することの大切さと、わかりやすく相手に伝わる表現指導にも力を入れた。

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

（2）学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

（3）講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者	

4. 特記事項（本年度のみ）

--